

## 東海道新幹線N700系車両の改造工事の進捗

本年2月8日、東海道新幹線では最新・最高の車両であるN700Aをデビューさせました。平成28年度末までに31編成の投入を予定しており、現時点で9編成の運用を開始しています。本年4月からは、N700系全80編成についても、安全性と安定運行のサポート機能を強化するため、N700Aに採用されている機能の一部を取り込む改造工事を実施しています。

東海道新幹線においては、これまでにない大掛かりな車両改造工事であるため、当社「浜松工場（浜松市南伊場町）」では専門チームを設け、平成27年度までの3年間、約230億円をかけて実施しています。現時点で12編成の改造を完了しています。

### 1. 主な改造内容

#### (1) 安全性の向上

- ・中央締結ブレーキディスク…ブレーキ力を約15%向上
- ・地震ブレーキシステム…地震発生時に停止に要する距離を1割程度短縮



車体・台車取付作業



車輪取付作業



中央締結  
ブレーキディスク

#### (2) 安定性の向上

- ・定速走行装置…列車ダイヤが乱れた時の運行をサポート（遅れの早期回復）



配線作業



定速走行装置

#### (3) その他

空気タンクや付随する配管類など、1編成あたり1万点を超える部品を取り付け

### 2. 改造計画と現在の進捗状況

	25年度	26年度	27年度	計
改造計画数	32編成	37編成	11編成	80編成

※浜松工場での全般検査に合わせ、約1カ月弱の工期で改造実施

※平成25年9月26日現在、9編成を運用中。

# N700系改造



	機能	N700系		N700A
		改造前	改造後	
				
安全性	中央締結ブレーキディスク	—	○	○
	地震ブレーキ	—	○	○
安定性	定速走行装置	—	○	○
	台車振動検知システム	—	—	○
快適性	車体傾斜区間増（乗り心地向上）	—	○	○
省エネ	消費電力量削減（対700系△19%）	○	○	○
	トイレ、洗面所の調光機能	—	—	○
室内設備	腰掛	—	—	モケットデザイン 変更
	緊急通報装置（デッキ部）	—	—	○
	ドア開閉表示灯（デッキ部）	—	—	○